

個別施設計画

策定年月 | R2.1

施設名	矢掛高等学校			所在地	小田郡矢掛町矢掛1776-2		
敷地面積	31,775.00 m ²			棟数	52 棟 (計画記載対象 12 棟)		
延床面積	10,058.56 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 6弱		津波 -		浸水 -			
建築規制	非線引き都市計画区域、第二種中高層住居専用地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2018年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)			
	244,858 kWh	29 m ³	4,057 m ³	3,000 ℓ			
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 矢掛町指定緊急避難場所・指定避難所(土砂災害、洪水、地震)						

1 施設内建物の概況

名称	校舎(101棟)27	図書商業棟(102棟)28	教室棟(50棟)3
築年(西暦)	2005年	2005年	1961年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	167.40 m ²	451.32 m ²	311.04 m ²
延床面積	288.30 m ²	1,353.96 m ²	622.08 m ²
主要な用途 (室名等)	環境教室 進路指導室 進路学習室	図書館 LL教室 情報教室	普通教室 保健室
主要な設備 (屋外を含む)		消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		適
	中性化 ※3		適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	家庭科教室棟(52棟)4	普通教室棟(53棟)6-1	本館(53-1棟)6-2
築年(西暦)	1962年	1964年	1965年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	159.64 m ²	156.31 m ²	307.75 m ²
延床面積	319.28 m ²	470.88 m ²	924.51 m ²
主要な用途 (室名等)	食物教室 被服教室	普通教室	校長室 職員室 美術教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	不適	適
	中性化 ※3	不適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	消防設備(自動火災報知設備)	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	本館(53-3棟)6-4	体育館(62棟)10	記念館(67棟)14
築年(西暦)	1966年	1969年	1975年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	199.36 m ²	1,218.00 m ²	205.06 m ²
延床面積	598.07 m ²	1,538.49 m ²	404.62 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室	体育館	視聴覚教室 音楽教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	格技場(88棟)21	記念館(98棟)26	特別教室棟(103棟)29
築年(西暦)	1986年	2001年	2016年
構造	鉄骨造 2階	鉄骨造 2階	木造 2階
建築面積	382.73 m ²	238.70 m ²	380.20 m ²
延床面積	436.04 m ²	506.03 m ²	577.05 m ²
主要な用途 (室名等)	武道場	同窓会館	生物教室 化学教室 物理教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備		
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
校舎(101棟)27	予防保全を図る。
図書商業棟(102棟)28	予防保全を図る。
教室棟(50棟)3	長寿命化改修を行う。
家庭科教室棟(52棟)4	予防保全を図る。
普通教室棟(53棟)6-1	・設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。 ・長寿命化改修を行う。
本館(53-1棟)6-2	長寿命化改修を行う。
本館(53-3棟)6-4	長寿命化改修を行う。
体育館(62棟)10	予防保全を図る。
記念館(67棟)14	予防保全を図る。
格技場(88棟)21	予防保全を図る。
記念館(98棟)26	予防保全を図る。
特別教室棟(103棟)29	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
内部・外部の改修を行う。
(50棟、53-1棟)2020年度設計・2023年度以降施工 (53棟、53-3棟)2025年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
校舎(101棟)27	予防保全			予防保全を図る。							
図書商業棟(102棟)28	予防保全			予防保全を図る。							
教室棟(50棟)3	長寿命化改修				設計			施工 4			
家庭科教室棟(52棟)4	予防保全			予防保全を図る。							
普通教室棟(53棟)6-1	設備等の定期更新					トイレ洋式化					
	長寿命化改修									設計・施工 1	
本館(53-1棟)6-2	長寿命化改修				設計			施工 50棟に含			
本館(53-3棟)6-4	長寿命化改修									設計・施工 53棟に含	
体育館(62棟)10	予防保全			予防保全を図る。							
記念館(67棟)14	予防保全			予防保全を図る。							
格技場(88棟)21	予防保全			予防保全を図る。							
記念館(98棟)26	予防保全			予防保全を図る。							
特別教室棟(103棟)29	予防保全			予防保全を図る。							

4. 概算費用

総額 5億円(長寿命化改修)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R3.11	普通教室棟(53棟)において、設備等の定期更新を追加
R5.3	教室棟(50棟)及び本館(53-1棟)において、長寿命化改修工事のスケジュールを変更